

女子大生による高松盆栽の認知度向上に向けた 情報発信の取り組み

～香川大学Bonsai☆Girls Projectを事例として～

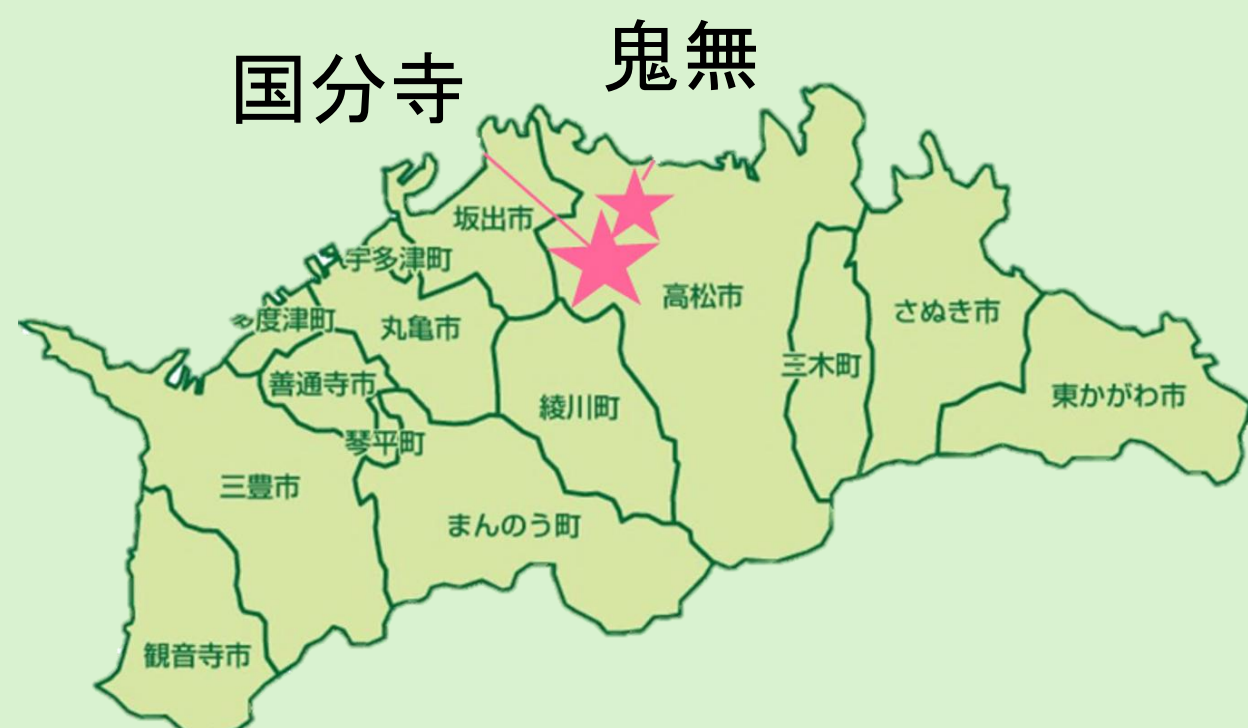
○海老原京呼*1・岡瑞希*1・福田桃子*2・遠藤もなみ*1・古川尚幸**

(香川大学経済学部生*1・香川大学法学部生*2・香川大学経済学部教授**)

高松盆栽

鬼無・国分寺地区(香川県高松市)は松盆栽の全国シェア8割を占める

高松盆栽の歴史は
約200年前の江戸時代から



なぜ高松が盆栽の有名な産地に？

瀬戸内地域の
温暖な気候

豊かな自然環境

果樹栽培で
培われた
接ぎ木・剪定技術

Bonsai☆Girls Projectとは

今までの盆栽のイメージ

男性

高齢

高価

女子大生

若者

女性

世間のイメージとは真逆の私たち女子大生が盆栽を発信！



盆栽教室



盆栽作家から直接、盆栽の知識や技術を習得

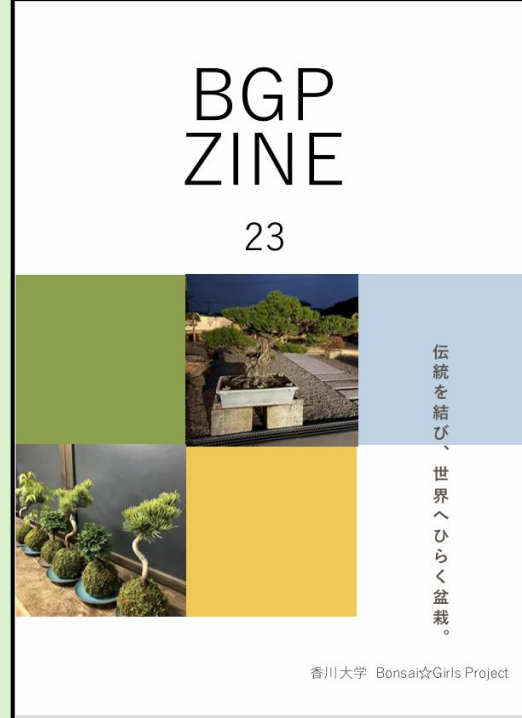
活動内容

ワークショップ



高松盆栽を知ってもらう機会づくり
地域イベントや高校生向けに実施

フリーペーパーの作成



盆栽に関するヒト・モノ・スポットを取材し記事に
高松市内を中心に無償で配布

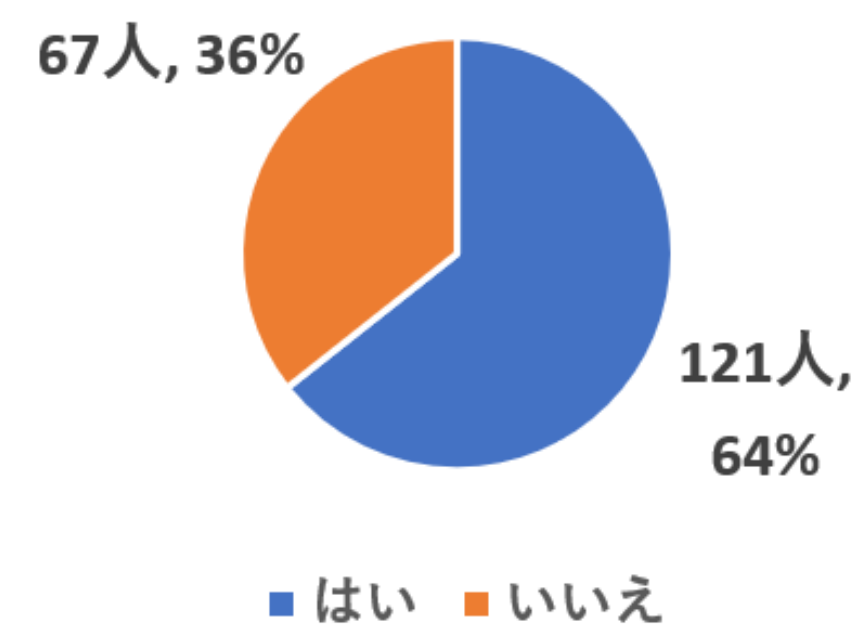
情報発信



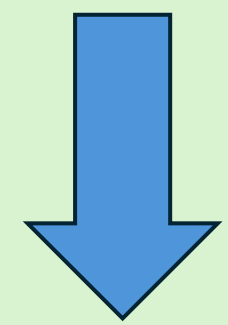
Instagram @bonsai.girls.project
Twitter @bonsaigirlsp
Facebook @BonsaiGirls

現状

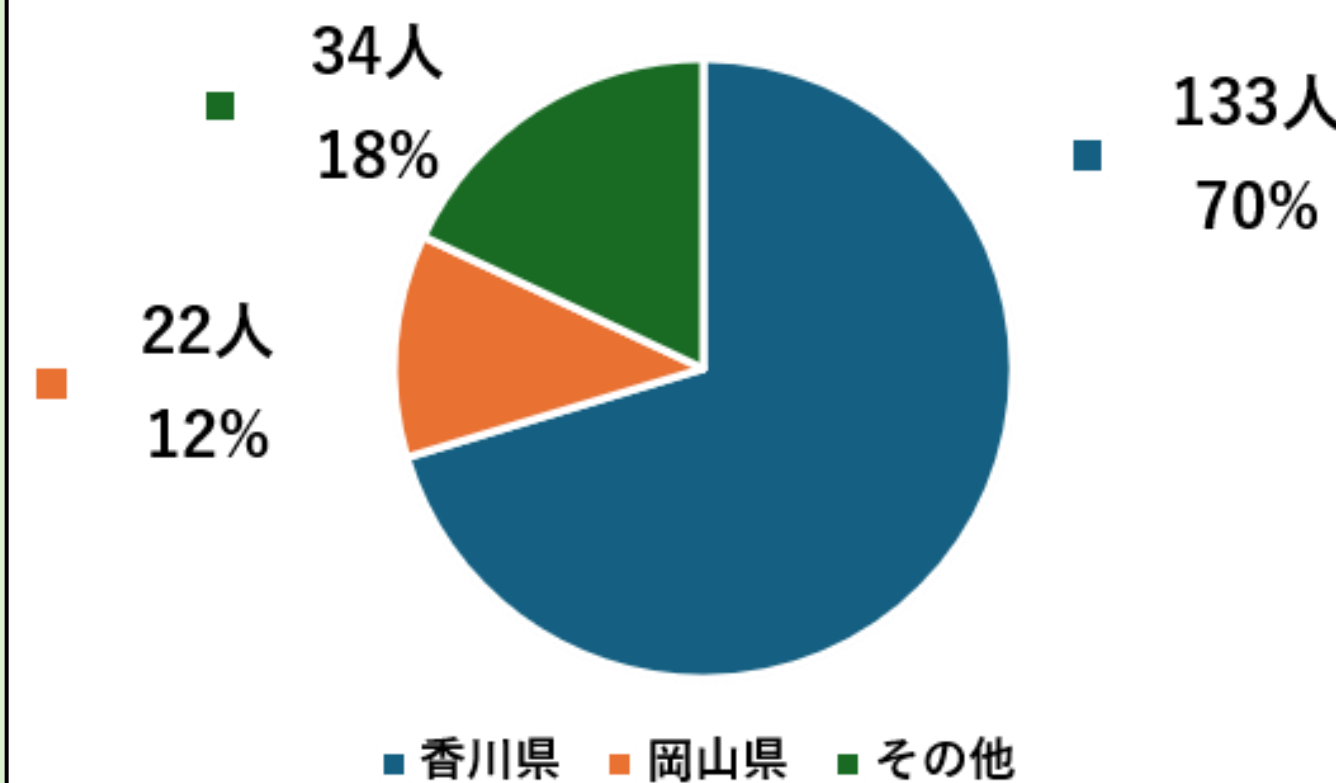
鬼無国分寺が有名な盆栽地であることを知っているか



過去5年間に実施したワークショップ参加者へのアンケートを集計した結果、鬼無・国分寺が有名な盆栽地であることを知っている人は約60%であった



アンケート回答結果



しかし、アンケート回答者の多くは香川県や香川県近隣に在住

つまり、香川県や香川県近隣に在住の人たちにしか、私たちの活動が届いていない

今後の展望

産地周辺に住む人以外、つまり他県の人にも私たちの活動を届けることで、より幅広い層の人に盆栽の魅力を伝えたい。そのために、新しい活動を始める。

○盆栽散歩

目的

鬼無・国分寺地区を訪れるきっかけづくり

ツアー内容

私たちが盆栽の知識を伝えながら、鬼無・国分寺地区の盆栽園を巡る

課題

・香川県外への広報をどうするか
・盆栽に興味がない人には別のアプローチが必要

まとめ

これまでの活動では「産地周辺に住み、盆栽に少し興味がある人」にしか活動の効果が発揮されていなかった。これからはより多くの人に魅力を伝えるべく、他県の人をターゲットに活動の場を広げていく。そのためには、現状を把握し、より興味を持ってもらえるようなアプローチの開発が必要である。



お問い合わせ

学生代表 岡瑞希
担当教員 古川尚幸

bonsai.girls2015@gmail.com
furukawa.naoyuki@kagawa-u.ac.jp

